令和6年度 鯖江高等学校(全日制) 学校関係者評価書

(問)・学校評価書の成果と課題が適切かどうか。
・成果と課題を踏まえた今後の改善策・向上策が適切か。
・その他の要望

PTA会長1名、 PTA副会長3 名、 PTA役員4 名　 計8名

(意見欄)

1　教育課程・学習指導・研修

○授業理解と授業改善について

・成果と課題および今後の改善策・向上策は適切である。(6名) ／ 課題がある(1名)／無回答(1名)

○家庭学習の定着について

・成果と課題および今後の改善策・向上策は適切である。(5名) ／ 課題がある(2名)／無回答(1名)

家庭での学習時間増や実施方法については、各家庭の範疇であり、学校には粘り強く指導をお願いするしかない。

授業を理解できていない生徒に気づき与える指導、理解できていないことを意思表示できる環境作りを継続していただきたい。

学校で個別指導はどれくらいできるのか。

親子の認識のずれがあり、家庭でしっかり話し合えているか。
成績だけで親は評価していないか今一度確認していただく。

希望者にはアプリなどを使った家庭学習を取り入れてもよいのではないか。新しい気づきがあれば面白さを感じやすく、意欲も出てくるのではないか。

2　生徒指導

○服装容儀に関する指導について

・成果と課題および今後の改善策・向上策は適切である。(7名) ／ 課題がある(0名)／無回答(1名)

○遅刻を減らす指導について

・成果と課題および今後の改善策・向上策は適切である。(6名) ／ 課題がある(1名)／無回答(1名)

○いじめ・問題行動の防止に取り組む指導について

・成果と課題および今後の改善策・向上策は適切である。(6名) ／ 課題がある(1名)／無回答(1名)

登下校時に挨拶をしてくれる生徒も多く、服装なども問題ない。ただ、自転車、歩行者ともに交通マナーには問題あり、運転していると危ない日がある。

昔と比べ奇抜な服装の生徒もいないし、今の時代に合った指導を継続していただきたい。

いじめ等の問題も発生後だけでなく、普段からの声かけ等による予防的対策の継続をお願いしたい。

いじめ、不登校、問題行動は何件あるのか。

生徒会のあいさつ運動の主旨は”あいさつをちゃんとする” ”自転車マナーを守る”がメインであることから遅刻の抑制にはならない。遅刻を減らすのは家庭での呼びかけが大切であり、本人の遅刻に対しての意識を向上させるべき。

3　進路指導

○進路学習に関する指導について

・成果と課題および今後の改善策・向上策は適切である。(6名)／課題がある(1名)／無回答(1名)

○面接・作文等に関する指導について

・成果と課題および今後の改善策・向上策は適切である。(7名)／課題がある(0名)／無回答(1名)

進路についても家庭でしっかり話し合い、早く目的(目標)を決め、その道に進めるよう親がアドバイスするべきであり、学校はその後に進路学習すべき。

4　保健・安全管理

○保健管理に関する指導

・成果と課題および今後の改善策・向上策は適切である。（ 7名）／課題がある（ 0名）／無回答（1名）

○安全・美化に関する指導

・成果と課題および今後の改善策・向上策は適切である。（ 6名）／課題がある（ 1名）／無回答（1名）

○困っている生徒への対応について

・成果と課題および今後の改善策・向上策は適切である。（ 6名）／課題がある（ 1名）／無回答（1名）

困っている生徒について、親はわかっていないが生徒は思っているとのことで、教師と生徒で相談できる関係をつくれると良いと思うが、その前に親に何でも相談できる関係をつくるべき。

5　図書指導

○図書意欲の啓発と図書館利用の推進について

・成果と課題および今後の改善策・向上策は適切である。（ 6名）　／　課題がある（ 1名）／無回答（1名）

本を教室に配置するなど身近なところにあるだけで読書が進むので、以前より対策の成果が見られる。

SNSにより、本を読む機会は減ってきていると思う。指で画面を操作するより、紙をめくって手触りなどの感触を感じることが大切だと思う。

本を読むことは嫌いではないが図書館に足を運ぶ機会が少なくなっているのではないか。イベントを増やして、まず本を借りてもらうことで続編が読みたくなるなどの取り組みが必要だ。

6　地域に根差した学校づくり

○探究活動の推進について

・成果と課題および今後の改善策・向上策は適切である。（ 6名）　／　課題がある（ 1名）／無回答（1名）

○ホームページの充実と広報活動について

・成果と課題および今後の改善策・向上策は適切である。（ 7名）　／　課題がある（ 0名）／無回答（1名）

地域の行事でも「鯖江高校」の名を耳にする機会がよくあり、生徒の頑張りを目にしている。相互に活性化できるよい取り組みだと思うので、今後も継続していただきたい。

夏休み中に児童センターにお手伝いに来てくれる生徒はとても立派だと思う。子供たちも喜ぶのでありがたい。

鯖江にある唯一の高校であることから、もっと鯖江や福井県に興味が持てる環境が必要。めがね、漆器だけでなくいろんな企業とコラボしたり、教師も地域の活動や企業に興味を持ち授業に取り入れたりできたら良い。家庭でも地域活動について話し合えたら良い。

◎全体についての意見

部活動の指導が厳しいという声を聞く。スポーツを嫌いになってしまうほどの指導は間違っていると思う。

高校生だからと全て学校にまかせるのではなく、家庭で子を指導、サポートするべき、高校生といってもまだ未熟で、親のアドバイスやサポートは必要。保護者・教師・生徒、このトライアングルのバランスを保ち、よりよい方向に向かうことを切に願う。私は娘を鯖江高校に進学させて大変良かったと思っている。

（学校関係者評価を踏まえた今後について）

・家庭との連絡を密にするとともに、「みのり」の活用や個人面談によって、家庭においても生徒が主体的に学習に取り組む姿勢を養う。

・進路情報誌の提供（特に1，2年生）を増やして、各自の進路意識を高め、目標設定の一助となるようにする。

・学校の教育活動状況について、いろいろな機会を利用して広報するとともに，ホームページの充実を図ることで、地域への情報の発信に努める。